

かじか



令和3年1月8日
岩国市立美川小学校

あたりまえのことをきちんとやること

校長 村 重 忠

保護者の皆様、地域の皆様、あけましておめでとうございます。日頃より皆様から本校教育に多大なる御指導・御支援をいただいておりますことに、まずもって御礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、2学期の終業式の折、子どもたちに以下の3つのことを話しました。

- ① チャレンジ目標を意識して2学期を過ごすことができたか
- ② 正月の家庭での過ごし方について
- ③ 新型コロナウイルス感染防止のための取組について

本校のチャレンジ目標は「じぶんからべんきょう」「なかよくうんどう」「じぶんからあいさつ」の3つですが、必ず終業式や修了式の際に児童に振り返らせているものです。2学期の終業式にあっても最初にこのことについて振り返らせました。また、②の正月関連のことについても時節柄外せないところです。日頃から地域貢献については児童に繰り返し話しているところですが、冬休みは家庭の一員としてしっかり貢献しようという趣旨のことを話しています。

そして、③の新型コロナウイルス感染防止の件については、表題の「あたりまえのことをきちんとやること」に焦点をあてて話しました。

一時はなりを潜めていた新型コロナウイルスの話題ですが、ここ最近は毎日のように感染者の増加がニュースに取り上げられています。山口県においても新規の感染者がない日は珍しくなっており、本市においてもほぼ毎日新規の感染者が出ている状況となりました。

感染された方々には早くの回復をお祈りするばかりですが、そういった方々を含め、皆さん当たり前のようにマスク着用、手洗いや手指の消毒、密を避ける取組や換気等、公に推奨されていることを当たり前のようにやっておられます。

学校においても、感染対策として上記のような対策を取っているところですが、それに加えて行事等の縮小、学習における制限、人数制限等を行っており、昨年までの学校生活とは様相が大きく変わっています。

しかし、それに浮き足立つことなく、本校の子どもたちは指示されたことを忠実に守り学校生活を送ってくれていますが、ここで「あたりまえのことをきちんとやっている」「言われたことをきちんとやっている」ことを改めて評価したいと思います。まずは「あたりまえのことをきちんとやる」「言われたことをきちんとやる」ことは、これからの社会生活において身に付けておかなければならない大切な心構えだと思いますが、幼少時から家庭で育てこられたその意識が学校生活の中でさらに伸びているのであれば、これも有り難いことだと思います。

今年も感染対策でいろいろと制約のある学校生活を送ることになりそうですが、「あたりまえのことをきちんとやる」ことで乗り越えていければと思います。